

政策評価シート(令和4年度実績評価)

◎政策の基本情報

政策No	0202	政策名	生活基盤の充実	政策主管課	都市政策課	課長名	澤田 利徳
政策の目指す姿		生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています					
政策の方針							
<p>市民が快適な生活を送るためには、道路や住宅、水道など生活に必要な基盤が整備されていることが必要です。そのために、安全で利便性の高い道路の整備をはじめ、利用しやすい公共交通の確保、安心して生活できる住宅の確保、地域の特色を活かした景観の形成、安全でおいしい水の安定的な供給、汚水の適切な処理、さらには、快適な情報通信環境の整備促進に取り組みます。</p>							

1 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
生活基盤に満足している市民の割合	普段の生活の中で利用する道路や上下水道、公共バス、情報通信環境などの基盤整備状況の市民満足度を示す指標	出展：市民アンケート「普段の生活の中で利用する下記項目の基盤整備状況に満足していますか？」①道路、②上水道、③下水道、④公共バス、⑤情報通信環境(1)満足、(2)どちらかといえば満足、(3)どちらかといえば不満、(4)不満、(5)分からない、(1)(2)選択数をカウントし、各項目別の満足度を測定したうえで、各項目の平均値を算出し、全体の市民の満足度とする。※分からない、無回答は分母から除いて計算	%	目標値	71.90	72.40	72.90	73.40	73.90	
				実績値	73.00	70.20	70.00	72.12		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

2 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	概ね達成できているが、実績値が令和2年度から目標値を下回っており、その中でも公共交通の満足度について、令和3年度(41.32%)と比較し令和4年度(40.11%)は1.21%下がっている。その要因として、新型コロナウイルス感染症の影響や乗務員不足による路線バスの減便により、沿線での満足度の減少が見られたことが考えられる。その他、上下水道の整備状況とインターネット環境については、満足度が安定して高い状況となっている。

3 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B③	概ね順調である。上下水道など基本的な生活インフラについては、計画的な事業推進により概ね目標どおり整備が進み市民の満足度は高い。公共交通については、交通不便地域を解消するため、新たな交通手段の導入を検討する必要があるが、路線バス等の既存の公共交通サービスへの影響を考慮し慎重に検討する必要がある。また、令和6年度から計画期間とする次期公共交通計画の策定にあたっては、公共交通事業者とともに検討を行い、市民が利用しやすい公共交通サービスに向けて取り組むこととしている。

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06	
1	道路環境の充実	市道の改良率	%	目標値		56.80	56.90	57.00	57.10		
				実績値		56.60	56.80	57.20			
		市道の舗装率	%	目標値		53.00	53.20	53.40	53.60		
				実績値		52.60	52.80	53.00			
		歩道の整備延長	km	目標値		188.00	189.60	191.20	192.80		
				実績値		182.90	185.00	185.80			
2	公共交通の確保	公共バス（市運営、民間運営）の利便性に満足している市民の割合	%	目標値	43.00	45.00	47.00	49.00	50.00		
				実績値	42.20	44.05	41.32	40.10			
		いわて花巻空港年間利用者数	万人	目標値	43.10	52.50	52.70	53.40	53.40		
				実績値	48.50	14.15	20.59	38.07			
				目標値							
				実績値							
3	住宅の安定確保	市営住宅大規模改修計画に対する進捗率	%	目標値	84.10	84.10	87.30	90.50	93.70		
				実績値	73.00	84.10	87.30	90.50			
		住宅の耐震化率	%	目標値	71.20	77.80	78.70	79.40	80.20		
				実績値	77.10	77.70	78.20	78.50			
				目標値							
				実績値							



4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値 区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06	
7	情報通信環境の充実	光通信エリア普及率	%	目標値	97.40	100.00	100.00	100.00	100.00		
				実績値	96.70	98.10	100.00	100.00			
					目標値						
					実績値						
					目標値						
					実績値						

5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	道路環境の充実			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	B	B	B
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備や日常的な維持補修経費に加え、道路法に基づく5年に1回の定期点検（橋梁、トンネル）の点検経費を要するため、将来を見据えた計画的で効率の良い修繕と財源の確保が必要である。</li> <li>北上工業団地周辺では企業立地が活発化し、国道4号の渋滞がさらに深刻化することが懸念され、周辺市道における歩行者の安全対策も急務であることから、国道4号4車線拡幅整備事業、及び関連する周辺市道整備事業の推進が必要である。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設マネジメント計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の実施とその財源の確保を図る。</li> <li>国道4号の花巻・北上間の2車線区間の4車線拡幅整備の事業推進について、「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」や岩手県、北上市と連携し国に強く働きかける。また、国道4号4車線拡幅整備事業に関連する周辺市道整備事業について、国と連携し整備事業の推進を図る。</li> </ul>			

2	施策名	公共交通の確保			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	C	D	D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通不便地域を解消するため、予約応答型乗合交通を含めた新たな交通手段の導入を検討する必要があるが、路線バス等の既存の公共交通サービスへの影響を考慮し慎重に検討する必要がある。</li> <li>現在運休している国際線の再開又は新規就航の実現に向け、誘致活動を行う必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度からを計画期間とする次期公共交通計画を策定するため、令和4年度に実施した市民意向調査や利用者意向調査を踏まえ、市民が利用しやすい公共交通サービスを提供するための取り組みについて公共交通事業者とともに検討し、その取り組みを公共交通計画に反映し、計画的に実行していく必要がある。</li> <li>岩手県空港利用促進協議会や関係機関と連携し、花巻空港の国際線運休再開又は新規就航実現のため、一体的・継続的な誘致活動に取り組む必要がある。</li> </ul>			

3	施策名	住宅の安定確保			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		C	B	B	B
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断を実施しても、補強費が高額となり建替えを考える、跡取りがいない、補強しなくても大丈夫といったことなどから、補強工事を行わないケースが多くみられるが、住宅の耐震性確保に向けて継続して周知を行う必要がある。</li> <li>管理不十分な空家への通報が多いことから、引き続き空家所有者に対して良好な維持管理をお願いする必要がある。</li> <li>民間宅地開発支援事業補助金について、不動産会社等への継続的な広報活動が必要。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断について、広報はなまきや市ホームページ、戸別訪問等による周知を引き続き実施する。</li> <li>木造住宅耐震診断で補強工事の必要な所有者に対して、耐震補強を促進するため木造住宅耐震相談支援事業の紹介や耐震補強のリーフレットを配布する。</li> <li>建物所有者に対して、空家の適切な管理をお願いするチラシの配布を継続するとともに、苦情のあった空家所有者に対して空家の維持管理業務を受託するシルバー人材センターのチラシを同封した、適切な維持管理をお願いする文書を送付する。</li> <li>民間宅地開発支援事業補助金について、不動産会社等への広報活動を継続して実施する。</li> </ul>			

5 政策を構成する施策一覧

4	施策名	景観形成の推進			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		A	B	B	B
	課題	景観形成には、建築物や遊休地の適正な管理、農地や山村の保全など多様な取り組みが必要である。			
	今後の方向性	岩手県景観計画に沿って、引き続き景観保全に努める。			

5	施策名	安全な水の安定的供給			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	A	B	B
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金を利用する場合でも、設置以降の施設のメンテナンスなどの維持費や補助金対象外の経費は自己負担となるため、各家庭の事情や生活条件などの要因により浄水施設等の設置が伸び悩んでいるが、水道未普及地域の住民に対する安全な水の供給のため必要な事業であることから、引き続き制度の周知に努める必要がある。</li> <li>申請予定者の家庭事情により施工できない場合があることから常に状況を聞き取りし、スケジュールを管理する必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度に実施したアンケート調査により96世帯が補助金を利用して浄水施設等の設置を希望したが、まだ浄水施設等を導入していない利用希望世帯に対し、戸別訪問等により制度のPRを行い浄水施設等の導入推進に努める。</li> <li>浄水施設等の設置を希望する世帯の事業実施に際しては、施工業者や申請者と打合せを行いスケジュールを管理し、計画的に事業を行うことに努める。</li> </ul>			

6	施策名	汚水の適切な処理			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	B	B	B
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道や農業集落排水の未接続者のもとより、このような集合処理区域以外の方にも水洗トイレを普及させるため、個人設置型の浄化槽整備にかかる補助制度をはじめ各種支援制度を周知しながら水洗化を促進する。一方、未水洗化世帯等からの声を吸い上げ、必要に応じて既存の補助制度を見直し、水洗化率の向上に努める必要がある。</li> <li>年々老朽化する施設については、コスト縮減の観点から効率的に長寿命化を図り、汚水処理施設の適切な機能維持に努める必要がある。</li> </ul>			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>水洗化率の向上を図るため、各種支援制度を周知するとともに、未水洗化世帯等の声を吸い上げ、より効果的な支援制度を検討する。</li> <li>適切な機能維持を図るため、各種施設の長寿命化計画に基づき、適切な時期に適切な工法で、更新工事を実施する。</li> </ul>			

5 政策を構成する施策一覧

7	施策名	情報通信環境の充実			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		B	B	A	A
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ難視聴対策を進めるにあたっては、他自治体の先進事例や国の動きに関する情報収集のほか、市内の各テレビ共同受信施設組合の実態を把握する必要がある。</li> <li>・市民の利便性向上や業務効率化に向けて、ICTを活用した「自治体DX」を着実に推進していく必要がある。</li> </ul>			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ難視聴対策について、引き続き他自治体の先進事例や国のブロードバンド代替による難視聴解消策の検討状況等に関する情報収集を行うとともに、市内の各テレビ共同受信施設組合の実態調査を実施し、具体的な支援策の検討を進める。</li> <li>・自治体DXの推進に向け、令和7年度を目標とする情報（基幹系）システムの標準化・共通化に係る準備事務を着実に進めるとともに、行政手続のオンライン化の拡大、AI・RPA等を活用した業務効率化の推進、ICTを活用した新たな住民サービスの検討等を進める。</li> </ul>				